

在宅緩和ケアとちぎ 2018

10周年記念 市民公開講座

2/25(日) 9:30受付開始

講演 10:00~11:00

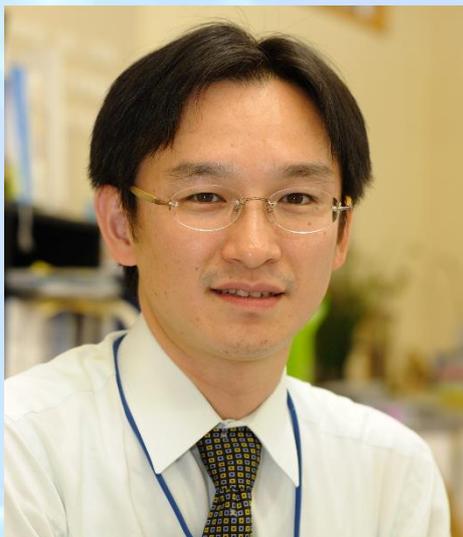
「がんを病んでも自分らしく
生きるための支援とは」

川越 正平さん

・あおぞら診療所院長

・日本在宅医学会第20回記念大会大会長

進行がんを患っている患者さんは、抗がん剤治療と副作用対策さえ的確になれば万事心配ないというわけではありません。病気のことをよく知り、世の中に氾濫する情報をうまく収集する(怪しげなものはよく吟味する)。相談相手や交流の場を得て孤立を防ぎ、これからの過ごし方や命の尊厳について折に触れて話し合うなど、さまざまな支援を必要としています。がん治療医だけでなく、病院のスタッフ、地域のかかりつけ医、医療介護に関わる多職種を応援団として味方につけることによって、自分らしく納得してがんと



パネルディスカッション 11:00~12:00

いのちと生活を支える 医療介護福祉 多職種チームの使命

司会:高橋 昭彦さん

ひばりクリニック 院長

特定非営利活動法人 ういずん 理事長

済生会宇都宮病院 南館2階みやのわホール

医療・介護関係者に限らず、一般の方にも聴いていただける内容です。

◎ 事前申し込みにご協力ください。当日現地での申し込みもお受けいたします。

FAX 送信用

代表者名: _____ 年齢: _____ 職業: _____

e-mail: _____ 申し込み人数: _____ 名

E-mail: murai_za@yahoo.co.jp 問い合わせ: 村井クリニック 地域連携推進室 鈴木

FAX 028-621-1514 (電話 028-643-0332)